桜塚小学校だより　３月号

http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/sakuraz/

令和３年（２０２１年）３月１日
豊中市立桜塚小学校
校長　原野　裕章

年度末の３月になりました。臨時休校から始まり、新型コロナウイルスに翻弄された一年でしたが、保護者の皆様のご理解・ご協力のもと、様々な工夫をして、教育活動を実施してきました。例年とは違い、子ども達にも随分と我慢をさせてしまいましたが、少しでも有意義な学校生活になるようにと、教職員一同努力してまいりました。なんとか一年を乗り越えて、学年末を迎えることができました。現在感染者数は落ち着いてきていますが、今後のことはまだまだ未知数なところがあります。今年度の取り組みをしっかり振り返って、来年度の新しい生活様式での学校に活かしていきたいと思います。

☆お別れ遠足（６年生）２月１８日（木）

小学校最後の思い出作りで、「ひらかたパーク」へお別れ遠足に行きました。感染症対策で、クラス毎に貸し切りバス３台に分かれて乗りました。１台分については、市からの補助があります。「ひらかたパーク」でも感染症対策はしっかりとされていて、いつもはエントランス前で待機して、そこでフリーパスをもらうのですが、今年は、バスの中で待機してフリーパスをもらいました。全員検温と手指消毒してから入場しました。園内のあちらこちら、アトラクションごとにアルコール消毒が置かれていました。例年数校が同じように遠足に来ているのですが、今年はいつもよりも少なく、待ち時間もほぼ無い状況で、子ども達はフリーパスを思う存分に使いこなしていました。絶叫マシンに何度も挑戦し続ける子や、苦手な子は、室内型のアトラクションに何度も入り、それぞれが思いっきり楽しい一日を過ごすことができました。

お知らせ

・山本みさき先生の着任
　小谷久美子先生が、産休に入られました。代替講師として、山本みさき先生に着任いただきました。よろしくお願いします。

☆２年生学習発表会　２月１９日（金）

２年生の学習発表会は、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言中であることや、一人一台のタブレットが貸与されたこと等を考慮し、ＷＥＢ配信による発表にいたしました。たくさんの方にご覧頂くことができました。ご協力ありがとうございました。

１組「きつねのおきゃくさま」

心優しい狐のお話です。ひよこと出会ったきつねは、ひよこを太らせて食べてしまおうと考え、ひよこを優しくもてなします。ひよこから「やさしいお兄ちゃん」と呼ばれて、なんだかぼっーとしてしまいます。ひよこはつぎつぎと出会ったアヒルやうさぎを連れてきます。きつねが優しくもてなし、動物たちはきつねのことを「やさしい」「親切」「神様みたい」と言っているうちに、きつねは本当に優しいきつねになりました。オオカミたちが動物たちを狙ってやってきました。きつねは動物達を守るために、オオカミに立ち向かっていきました。何とかオオカミたちを追い払うことができたのですが、狐は力尽きてしまうのでした。

２組「かさこじぞう」

皆さんご存知の昔話「かさこじぞう」です。貧しいながらも心優しいおじいさんとおばあさん。ほんの少しのお米しかなくなり、お正月を迎える準備もできません。少しのお米をネズミ達にあげて、お礼にスゲをもらいました。それで「菅笠」を作り、町に売りに行きました。ところが全然売れずに戻る途中、雪に降られていた「おじぞうさま」に笠をかけてあげました。その夜、そのお礼におじぞうさまはたくさんの品物を運んできてくれたのでした。

３組「スイミー」

小さな赤い仲間達と一緒に泳いでいた黒い「スイミー」。そこへ大きなマグロが現れて、仲間は食べられてしまいます。一人ぼっちになった「スイミー」ですが、カラフルなくらげ、ブルドーザーみたいなイセエビ、長―いからだのうなぎ、風に揺れるヤシの木みたいなイソギンチャク等、楽しい仲間と出会います。そして、新しい小さな赤い仲間と出会います。大きな魚がこわくて隠れていた魚達です。「スイミー」は考えて、「スイミー」が目となって、みんなで大きな魚の形で泳ぐことにしました。そして、大きな魚を追い出すことができました。